

聖マリアンナ医科大学病院に入院された患者さん・御家族の皆様へ
「早期警告スコアを用いた急変予測の精度を向上させるための
最適なデータクリーニング方法の検討」について

(1) 研究の目的

患者さんの急変の予兆を発見するため、バイタルサインや酸素投与の有無などを用いた早期警告スコア(EWS: Early Warning Score)が欧米を中心に広く用いられています。EWSをソフトウェアで自動的に計算できるようになることで、重症化の予兆を検出し、早期介入につなげることで患者さんの予後の向上が期待されます。自動計算の課題として、生体情報モニタ使用時の体動や機器外れ、また手入力する際の入力ミスなどで外れ値と呼ばれるあり得ない値が入力されてしまうことがあり、EWSを正しく計算できないことがあります。本研究では、正しいEWSをいつでも計算できるよう、外れ値を処理する最適なアルゴリズムの開発・評価を行います。

(2) 研究対象について

2014年1月1日～2022年11月30日に聖マリアンナ医科大学病院に入院された患者さんが対象になります。

年齢、性別、主科、入院病棟、入院日、バイタルサイン(血圧・脈拍・体温・呼吸数・SpO2)および測定時間、イベント経験(予期せぬ院内心停止、予期せぬICU入室、RRSまたはコードブルーの発生、院内死亡)の有無、人工呼吸器使用の有無、使用薬剤、意識状態、酸素投与の有無・投与量が記録されます。本研究は純粋な観察研究であり、患者さんにいかなる利益・不利益が生じることはありません。

(3) 個人情報等の保護について

この研究では個人を特定できるような情報は一切登録されません。

(4) 研究結果の公表について

研究結果は、医学研究雑誌や学会等で発表される予定です。

その場合も、個人を特定できる情報は一切含まれませんのでご安心ください。

※ この研究の対象となられる方で、ご自分あるいは御家族の情報を登録したくない場合は2023年12月31日までに下記連絡先までご連絡下さい。研究への参加を希望されない患者さんの情報は削除し、研究データとして使用することはありません。なお、申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

連絡先

聖マリアンナ医科大学病院 救命救急センター

住 所：〒216-8511 川崎市宮前区菅生 2-16-1

電 話：044-977-8111 (代)

担当医師： 森川大樹 PHS 80345